

(参考)

^{やえがし きよし}
【八重樫 季良 さんプロフィール】

1956年岩手県北上市生まれ。

八重樫さんは、ダウン症と知的障がいがありますが、幼いころから絵を描き始め、以来、半世紀にわたって、美しい色彩の幾何学模様の絵をずっと描き続けています。

八重樫さんの作品は、大工であった父親の影響から、そのイメージの源に、「建築図面」や「工事現場」といったものがあるようです。

現在、花巻市の障がい者支援施設「ルンビニー苑」で生活し、制作活動を行っています。

^{こばやし さとる}
【小林 覚 さんプロフィール】

1989年岩手県釜石市生まれ。

小林さんは、自閉症と知的障がいがありますが、幼いころから絵を描き始めました。

養護学校の中学部での理解ある教師との出会いを転機に、文字の独創的な変形や、物の形の描写に独特の様式化が現れ始め、使用する画材の幅も大きく広がり、養護学校の中学部から高等部にかけて、大作を含む数多くの力作が誕生しました。

小林さんの作品の造形的な魅力は、伸びやかに美しく弾む線のおもしろさ、そしてポップで鮮やかな色彩にあります。

現在、花巻市の障がい者支援施設「ルンビニー苑」で生活し、制作活動を行っています。

今回採用いたしました小林さんの「Let it be」は、津波で100メートルも流された自宅から奇跡的に見つかった作品で、ボランティアのみなさんの手により泥まみれの作品がきれいになって、ご本人のもとへ戻ってきたものです。

【ゆうちょデザインポストカードとは】

このカードは、障がいがあるアーティストのデザインを「だんだんボックス実行委員会」を通じてゆうちょ銀行が選出し、ポストカードとして制作しました。制作費用の一部は、だんだんボックス実行委員会を通じて、アーティストならびに福祉施設などの活動に還元されます。

「だんだん」とは、江戸時代に京都で生まれ西日本の一部に残る方言で「ありがとう」の意味です。

なお、去年は、九州出身のアーティストの作品を使用しました。



(2012年3月作成)

【だんだんボックス実行委員会概要】

障がいがありながらも素晴らしい才能を持つアーティストたちが、経済活動を伴って社会参加できるよう、さまざまな商品や企画をコーディネートしています。

2010年8月に発足し、段ボール箱にアート作品をデザインした「だんだんボックス」を中心に販売しており、これまでに約4万個を販売しました。(2012年12月末)

<URL><http://www.dandanbox.com/> (だんだんボックス実行委員会)